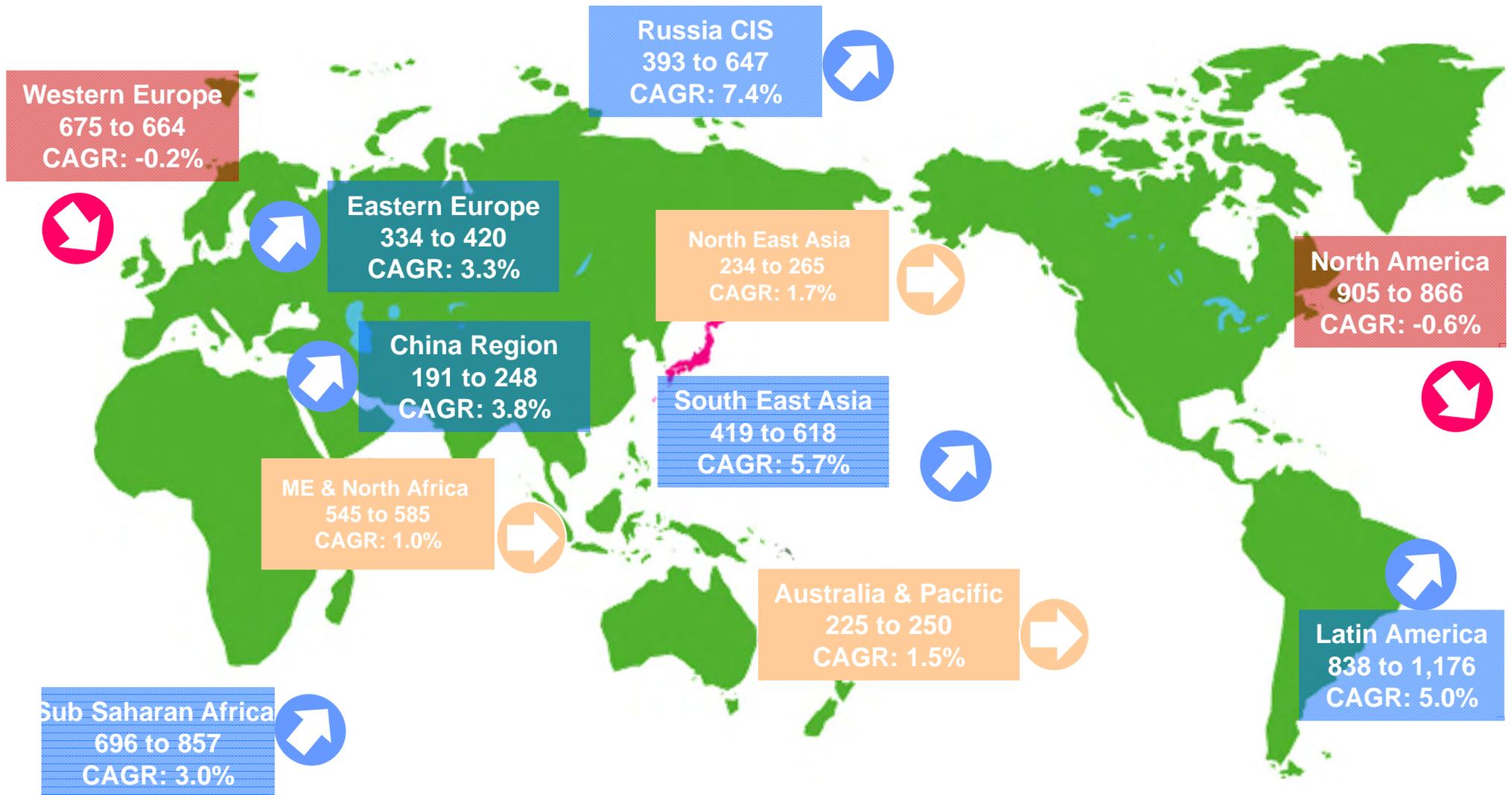


グローバル衛星中継器(トランスポンダ)市場の需要予測

■ 世界のエリア別トランスポンダ需要(2012E-2019E): Ku帯+C帯 TPEs*



参考: Euroconsult – Satellite Communications and Broadcasting Market Surveyを元に作成

* Equivalent to 36MHz Transponder

世界の主な衛星オペレーター(固定衛星/移動衛星)

固定衛星通信オペレータの売上規模

	事業者名	衛星数**	売上* (百万ドル)
1	Intelsat	58	2,600
2	SES	50	2,250
3	Eutelsat	28	1,550
4	Telesat	13	792
5	スカパーJSAT 宇宙・衛星事業部門	16	745*
6	SingTel Optus	5	322
7	スター・ワン	6	272
8	アラブサット	5	262
9	ヒスパサット	5	243
:			

ご参考: 移動衛星オペレータの売上規模 (2012)

	オペレータ	衛星数(周波数)	売上 (US\$ in millions)
1	Inmarsat※1	10 (L-band)	1,338
2	Iridium	66 (L-band)	384
3	Thuraya	3 (L-band)	約200 ※2
4	Globalstar	8+24 (S/L-band)	76
5	Orbcom	27+2 (VHF他)	64
.

※1 全社2012年4月現在数値

※2 2012年度推定見積

(各社HP等よりスカパーJSAT調べ)

出典:

* スカパーJSATは、宇宙・衛星事業部門のセグメント営業収益。

** 当社以外は2012年7月2日付Spacenews記事を参考。

Intelsat 概要

沿革

2000年11月

国際電気通信衛星機構(Intelsat)提供の衛星通信業務を、新たに設立する商業会社に移管することが決定。

2001年7月

衛星通信業務について、商業会社(Intelsat)へ移管、民営化。

2005年8月

PanAmSat Holding Corporation と合併に合意、FCCに合併認可申請。

2006年6月

FCCによる合併承認。

世界最大の民間(固定)衛星オペレータに



- ▶ 保有衛星: 58
- ▶ テレポート: 8
- ▶ 本社: ルクセンブルグ(主要拠点: ワシントンDC)
- ▶ 社員数: 約1,100人
- ▶ 売上高: \$2,600M
- ▶ EBITDA: \$2,000M
- ▶ 主要株主

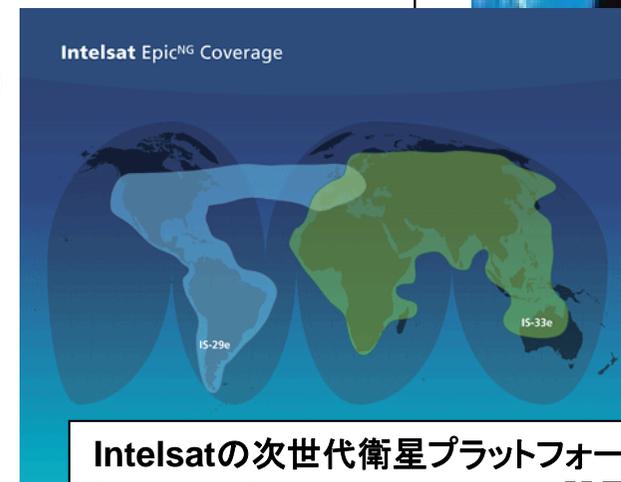
BC Partners 76%(fund)

Silver Lake Partners 17%(fund)

Boeing702MP



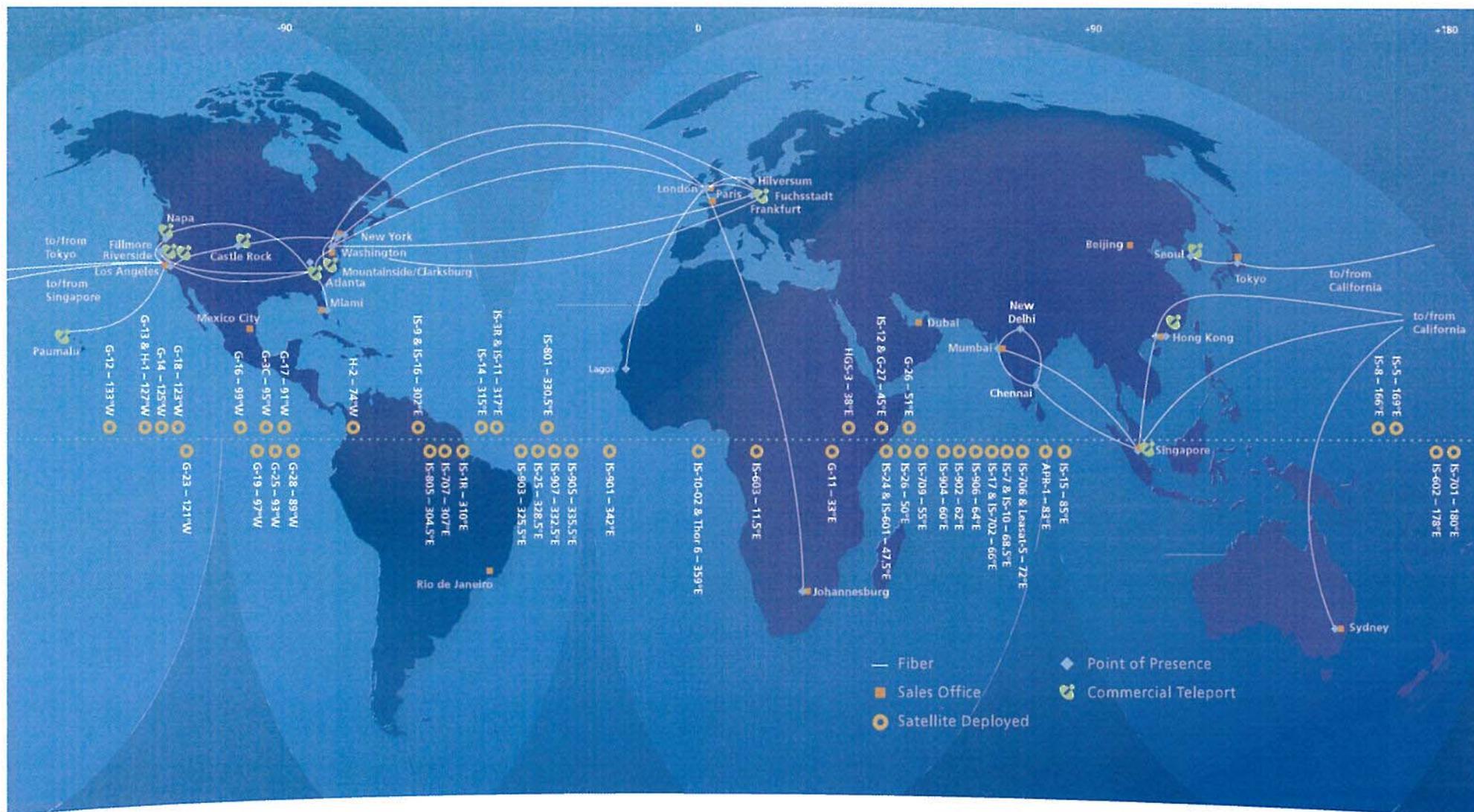
©Boeing



©Intelsat

Intelsatの次世代衛星プラットフォームEpic^{NG}
(high-performance system: HTSタイプ)

Intelsat フリート図 (公式Webより抜粋)



・規模の経済と、臨機応変なフリート組み替え(事故/不具合/需要動向)

Inmarsat概要

沿革

1999年

経営の効率化・衛星の資金調達の為、事業部分を新設の民営会社(Inmarsat)に移管。
監督機能(総会・事務局)のみを国際移動衛星機構として存続。

2005年

ロンドン取引証券所上場。

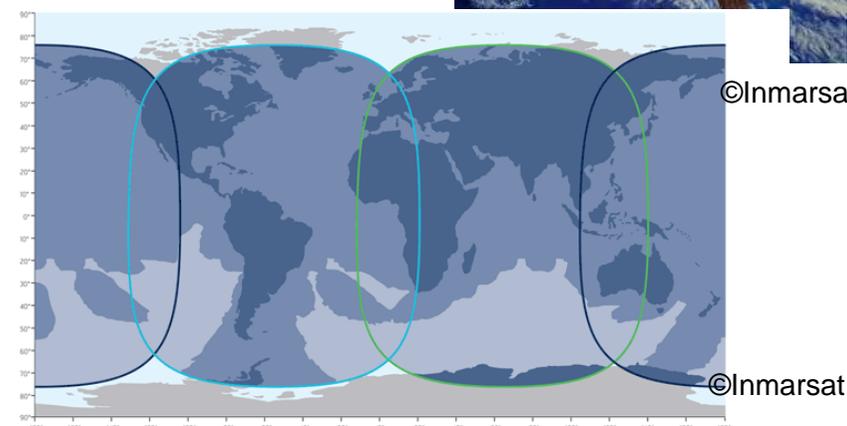
世界最大の民間(移動)衛星オペレータに



- 保有衛星: 11
- 本社: イギリス(ロンドン)
- 社員数: 約1,300人
- 売上高: \$1,338M
- EBITDA: \$854M
- 主要株主

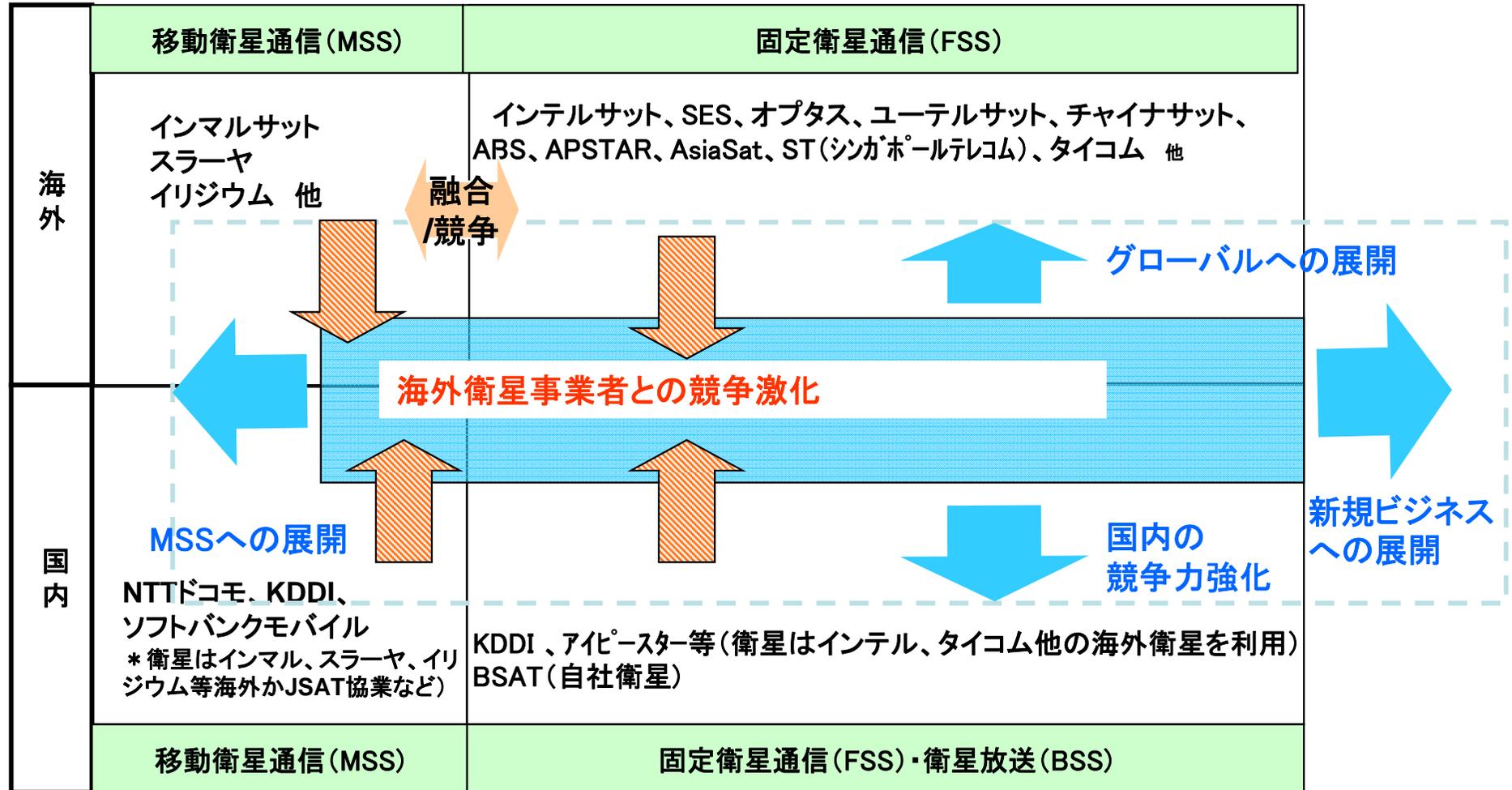
Landowne Partners Ltd	13.99% (fund)
Blackrock, Inc	10.00% (fund)
KDDI Corp	4.85%
Legal&General Group Plc	3.81% (fund)
Allianz SE	3.09% (fund)

Inmarsat-5



Inmarsatの次世代衛星ネットワークGlobal Xpress
(high-performance system) (HTSタイプ)

当社の事業環境と国際競争への対応



■地上回線、携帯電話、地上インターネット
NTTグループ・KDDI・ソフトバンク 他

地上系サービスによる
衛星放送・通信市場の侵食

国際競争への当社の取り組み

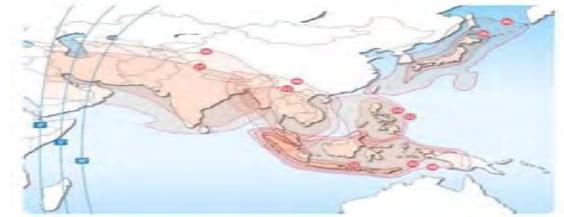
新分野への取り組み

- 移動体(MSS)への取り組み
- ・海洋/OceanBBサービス開発
 - ・飛行機向けサービス
 - ・インマルサットとのJV

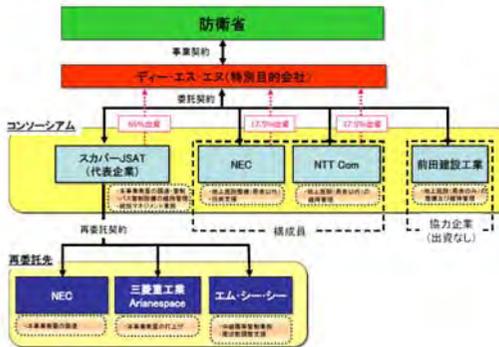


グローバル展開

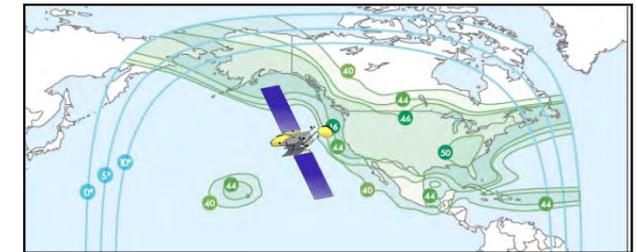
インドネシアの放送事業を牽引するLIPPOグループと
JCSAT-4Bの衛星回線利用契約を締結
インドネシアにおける試験放送開始



公共宇宙への取り組み



Intelsat社との共同(JV)で通信衛星にて
北米上空をカバー

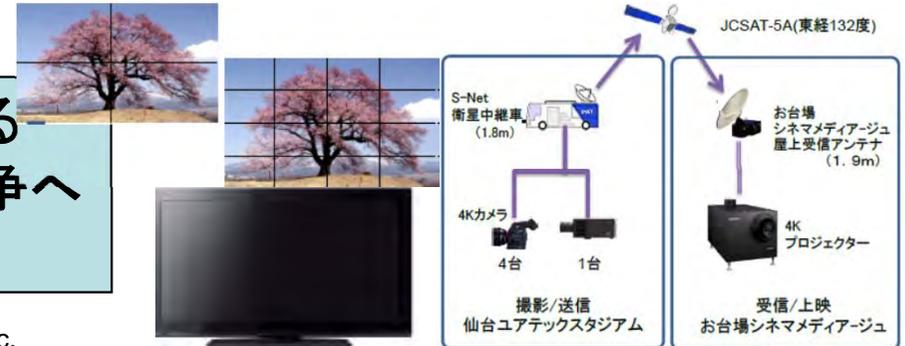


BCP(事業継続計画)・防災対策メニューの強化



国内市場における
海外オペレータとの競争への
取り組み

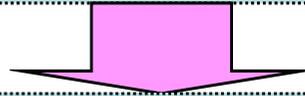
衛星回線を利用した4K/8K伝送実現に向けての取り組み



国際競争環境と今後の衛星開発への期待

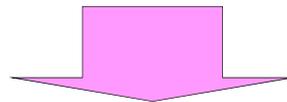
【世界の衛星オペレータの市場環境】

- 宇宙利用サービス産業における国際競争は激化の一途。
- 保有衛星数が多いほど、運用コストも低減をする「規模の経済」が顕在化。
- 地域によって異なる需要増減と、衛星回線から地上回線への置き換え



【巨大衛星オペレータのトレンド】

- ・規模とコストの大競争
- ・需要の大小/増減に応じた、柔軟な運用を推進。(売れるマーケットに迅速に対応)
- ・規模の維持・拡大に向け、更なる運用の効率化を追求。



このような環境下で、宇宙サービス産業が国際競争に打ち勝つためには、

安価(コスト競争の助けになる)で信頼性が高く、

総伝送容量(／機)が大きく寿命の長い

需要地に応じて可変が可能な

衛星の開発が期待される。